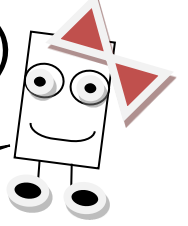


認定調査員の皆様。今年度も認定調査にご協力
よろしく、お願いします。

介護保険課認定係
平成25年4月1日

認定調査とつきクン通信 (H25第1号)

(H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行いたします)



聞き方って難しいよね。

1-1

①確認動作が行える場合 (聞き取り方)

- ・調査員も一緒にやってみせながら、**両腕を前や横に動かし肩の高さまで上げてみてください。**(止めてみせる。)
- ・**座った状態から膝を真っ直ぐに伸ばし、伸ばしたままの状態ができるかやってみてください。**(止めてみせる。)

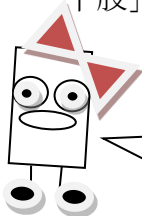
聞き取りが足りないと、特
記が書けないよね。

●一緒にいった状況

- ・自分でゆっくりと両腕を前や横に動かすことができ止められた。足は力が入らないと右足は上がるがすぐに下ろしてしまった。左は床から5cm位で止まってしまった。

確認した状況から特記

- ・**確認動作を行ってもらい両上肢は肩の高さまで拳上・静止できたが、右下肢は拳上できるが静止できず直ぐに下ろしてしまった。左下肢は床から5cmしか上げられない事から判断し「左下肢」「右下肢」を選択する。**
選択肢*左下肢・右下肢*



対象者の調査中の状況もよく
観察して、確認しないとね。

②確認動作が行えない場合は本人や介護者から聞き取る。(聞き取り方)

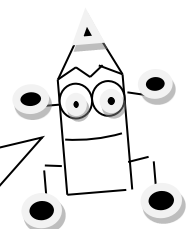
- ・**手・足等、麻痺や自分で動かそうと思っても動かないところはありますか。**
- ・**動けないため、介護者が手伝っていることはありますか。**

必ず確認して欲しい内容

- ・確認動作が行えない理由や状況の確認。
- ・過去1週間で頻回な状況・日頃の状況を確認。

- 聞き取った内容、選択した根拠等を具体的に「特記事項」に記載する。

四肢が欠損している時は、「その他」にチェックだよ。欠損によって目的の確認動作が行えない場合は欠損している部分の選択肢も該当し選択するよ。





認定調査とつきクン通信（H25第2号）

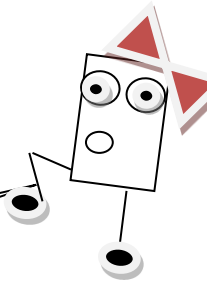
（H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行しています）

1-9 片足立位（1秒）

① 確認動作が行える場合（聞き取り方）

※ ここはトイレまでの移動の確認をしてもらう中で歩行状況や立ち上がり等の一連の動作をしてもらう中で、その場で

できるだけゆっくり足踏みをしてください。



ここは、立ち上がりやトイレ等までの歩行の確認をしていく中で「その場で足踏みをしてください」・・・と言うと行ってもらえると思うよ。
試してみてね！

●行った状況

・ ゆっくり足踏みしてもらったが、ふらつき直ぐに手すりにつかまった。

確認した状況から特記

・ ゆっくり足踏みしてもらったが、ふらつきがみられ直ぐに手すりにつかまった。普段の歩行時もふらつくので杖を使用しているとのこと「2・何か支えがあればできる」と判断した。

選択肢*「2・何か支えがあればできる」*

② 確認動作を行ってもらえなかった場合は、本人や家族から聞き取る（聞き取り方）

・ 風呂の縁をまたぐときはどのようにしていますか？
・ 階段はどのように上っていますか？

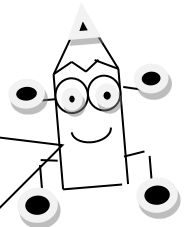


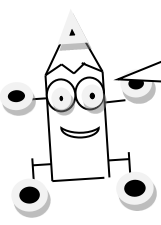
必ず確認してほしい内容

- ・ 確認動作が行えない理由や状況の確認
- ・ 過去1週間で頻回な状況・日頃の状況を確認。

●聞き取った内容、選択した根拠等を具体的に「特記事項」に記載する

・ 「片足を1秒上げてください」と言うと、「できない」という人が多いと思うけど、それをもって「3・できない」にはしないでね。
・ どちらか片方の足に体重を乗せられるのかの確認だよ。だから高く足を上げる必要はないよ。
・ ここは歩行の状況、他の動作の確認をしていく中で判断できる場合があるよね。歩行が「1・できる」または「2・何かにつかまればできる」人は「3・できない」は考えにくいのできちんと確認してね！





日頃の状況に関する聞き取りも必要だよね。

認定調査とつきクン通信 (H25第3号)

(H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行いたします)

1-5 座位保持 (10分)

①確認動作が行える場合 (聞き取り方)

・ソファーに寄りかかって座っていますが、寄りかからず10分座っていられますか。

●行った状況

- ・ソファーから背中を離し、支えなしで15分位は保持できたがそれ以上はテーブルに手をついた。

確認した状況から特記

- ・腰痛ありソファーに寄りかかって座っていたが、15分位は支えなしで座位保持できた。それ以上は腰の痛みからテーブルに手を付き保持する。「1. できる」と判断した。



ここポイント 座位は能力だよ。

日頃の状況がソファーにもたれて座っているので「支えが必要」としたは誤りだよ。

選択肢* できる*



この状態を、確認するんだよね。

②確認動作が行えない場合は本人や介護者から聞き取る。(聞き取り方)

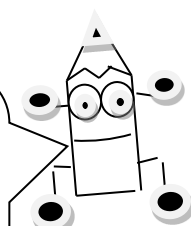
必ず確認して欲しい内容

- ・確認動作が行えない理由や状況の確認。
- ・過去1週間で頻回な状況・日頃の状況を確認。

- 聞き取った内容、選択した根拠等を具体的に「特記事項」に記載する。

- ・病院の受診時に、待合室や診察室で座っていられますか。
- ・食事の時椅子に座って食べますか。
- ・支えのない椅子(丸いす等)に座っていられますか。

「できない」は、

- ・長期間(おおむね1ヶ月)にわたり水平な体位しかとったことがない場合。
 - ・医学的理由で座位保持が認められていない場合。
 - ・背骨・股関節の状態により体幹の屈曲ができない場合だよ。
- 



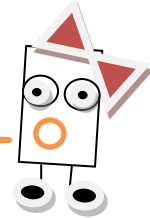
認定調査とつきクン通信 (H25第4号)

(H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行いたします)

4-12 ひどい物忘れ

聞き取り方

最近、物忘れをすることで困ったことはありますか？

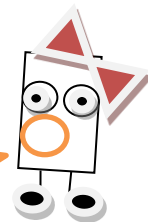


聞き取った内容

- ・月に1～2回大事な書類の、しまった場所を忘れる。

追加で聞き取った内容

その時はどうするのですか？または、ご家族と一緒に探したり等、周囲の者がなんらかの行動をとっていますか？また、その場合の頻度は月に何回ぐらいですか？



聞き取った内容から特記

- ・月に1～2回大事な書類をしまった場所を忘れるが、自分で時間をかけて探し出している
選択肢*ときどき*

※この場合、しまい忘れによって自分で時間をかけて探している…という行動が起きている。ここがポイント！

必ず確認して欲しい内容

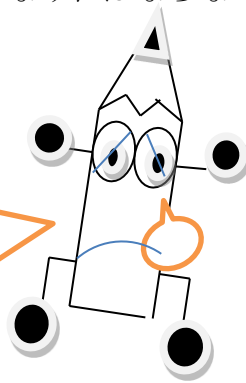
- ・この物忘れによって何らかの行動が起きているか
- ・周囲の者が何らかの対応をとらなければならない状況があるのかどうか
- ・過去1か月間の頻度

25年3月の要介護認定適正化事業のデータ



4-12 物忘れ	江戸川区 (%)	都 (%)	全国 (%)
ない	81.2	69.8	67.6
ときどき	3.9	7.6	7.2
ある	14.9	22.5	25.3

「4-12」物忘れについて専門調査員からの問い合わせが多く、困っているよ。23年の第3号のつきクンにも解説しているけど、なかなかこの項目の問い合わせが減らなくて、どうしたものか・・・



上記表により分析をした結果、物忘れによって対応を取っていない場合は「ない」としていたのではないか…と思われる。改めてテキストP127の定義を確認してください。物忘れにより何らかの行動が起きている場合は物忘れになります。



認定調査とつきクン通信 (H25第5号)

(H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行いたします)

3-4 短期記憶

聞き方の例

- ・少し前に、何をされていましたか。
- ・お食事はとられましたか。ご飯のおかずを教えてください。
- ・私が来る前に何をされていましたか。など・・・

この聞き取り方をした場合は・・・

「ペン」「時計」「視力確認表」などを見せる。
復唱してもらい、5分程経過してから2つの物を提示。



残りの1つは何だったでしょう
か？ (本人へ質問)

聞き取った内容

- ・しばらく考えたが、答えられない。

追加で聞き取り

日頃の、短期記憶は
いかがでしょうか？
(家族へ確認)



追加内容

- ・質問は、急に聞かれ答えられなかったが、日頃は通院日や予定は理解し、直前の事も分かっている。

確認した状況から特記

- ・調査時3つの物を提示し5分後に確認するが、答えられなかった。日頃の状況を家族に確認すると通院日や予定等理解し、直前の記憶にも問題ない事を確認した。日頃の状況により「できる」を選択する。

選択肢*できる*

ポイント

調査時の聞き取り内容と普段の状況を確認することが大事だよ。

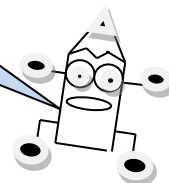
※調査時の質問に

- 答えた = 選択肢「できる」
答えられなかった = 選択肢「できない」**ではない。**

必ず確認して欲しい内容

- ・調査当日の状況
- ・立会者からの日頃の状況
- ・調査日より過去1週間の頻度

暑いけど、体調に
気を付けて、水分
補給をしてね。





介護保険課認定係

平成25年9月1日

認定調査とつきクン通信 (H25第6号)

(H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行いたします)

2-5 排尿 ・ **2-6** 排便

聞き取り方



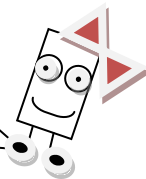
1 トイレはご自分で行かれていますか。
2 それとも誰かに手伝ってもらいますか。

聞き取った内容

⇒ 自分でトイレに行き排泄している。
介助は受けていない。

この場合、追加で聞き取り

本人又は介護者に対して
ズボンの上げ下げ・清拭・流すこと
全て自分で行っていますか。



⇒ 通常は、ズボンの上げ下げ・拭く・
水を流すことはできていると思うが、
間に合わないことがあり廊下を汚す。
パットだけでも使ってもらえるとよ
いが、本人は嫌がっている。汚れた下
着は自分で洗っている。
⇒ 掃除は週3回ほどです。



ここ1週間での掃除回数を
教えてください。

確認した状況から特記

・通常は介助は行われていないが、週3回ほどの頻度でトイレに間に合わず失禁し、廊下が濡れており、廊下の掃除は家族が行っている。パットは本人が好まず使用していない。下着は自分で洗っている。

{ 廊下の掃除をする等の介護の手間は発生しているが、
一週間の頻度では、自分で行っている頻度の方が多い。 }

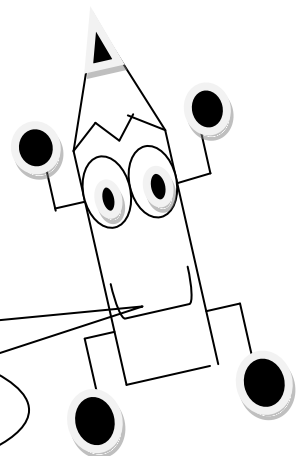
ない」

選択肢※「介助されてい

必ず確認して欲しい内容

- ・排泄の方法 (トイレ/オムツ/ポータブル)
- ・介助の方法が異なる時は頻度を確認
- ・失禁の頻度

排尿は実際の介護において「個人差」があり、
また一日の中で「何度も発生する介助」だね
排泄はデリケートな部分です。聞き取り方にも注意してね。





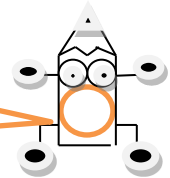
介護保険課認定係
平成25年10月1日

認定調査とつきクン通信 (H25第7号)

(H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行いたします)

2-2 移動

ここは、1-7歩行と矛盾がないよう聞き取ることが必要だよ。
また、外出時はどうなのか必ず聞いて書いてね。



聞き取り方

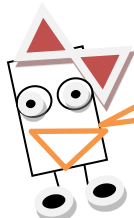


主に室内に於いて、トイレ等へは、どのように行くのですか？

聞き取った内容

⇒ 誰も居ない時は、歩けないので這って行く。

追加で聞き取り



普段は誰も居ない時が多いのですか？また、居る時は介助で行くのですか？

追加で聞き取った内容

⇒ 日中は息子が仕事で不在
誰も居ない時は何とか這ってトイレ等に行く。息子が帰って来てからは、腰を支えてトイレ等に連れて行ってもらっている。

再び追加で聞き取り



一日の中でトイレに行ったり食堂や入浴の移動の回数は何回位ですか？また、自分で移動する回数と息子が移動に介助する回数とどちらが多いですか？1週間の状況では頻度が多いのはどちらですか？外出はどのように行くのですか？

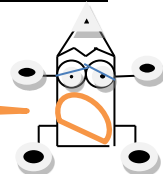
再度追加で聞き取った内容

⇒朝、息子の介助でトイレに行き、日中は這って自分で行くのが3回位。息子が帰ってから夜間等を含めて4回ほどトイレに連れて行ってもらっている。入浴は週に3回浴室に連れて行ってもらおう。通院等の外出は息子が車椅子介助している。

確認した状況から特記

日中息子が仕事で不在の時は何とか這ってトイレに行っている。(日に3回) 朝、夕方、夜間を含めトイレや入浴等で息子が腰を持って介助(日に5回以上)で移動する方が多い。外出は車いす介助。 選択肢「一部介助」

今回は僕の出番が、ほとんどなかったなあ

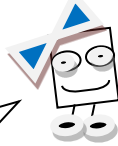




認定調査とつきクン通信（H25第8号）

（H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行いたします）

1-10 洗身



聞き方の例

- ・体を洗うときにご自分で洗っていますか。
- ・それとも、どなたかにお手伝いをしてもらっていますか。

聞き取った内容

→ ・家族に見守ってもらい、洗っている。

追加で聞き取り

- ・体を洗うことに、見守りをしているのでしょうか？



追加内容

→ ・自分で洗うが、足元が不安定で転倒の恐れあり見守る。

確認した状況から特記

- ・介助なしで入浴し自分で洗身しているが、足元不安定で転倒の危険があることから家族が入浴中見守っている。 選択肢*介助されていない*

ポイント

定義や選択基準には当てはまらない、手間となっている部分は特記に記載すること。

確認して欲しい点

- ・身体の各所を洗う行為について聞き取りしてください。

洗身の行為自体が発生していない場合「**行っていない**」の選択肢があるよね。

特記の例としては・・・

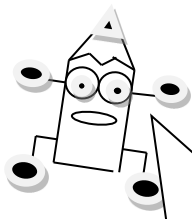
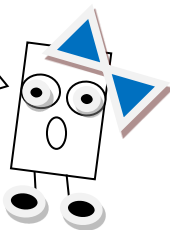
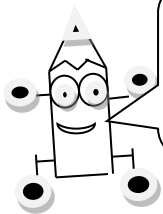
- ・医師より入浴を禁止されているので、家族が毎日清拭している。
- ・在宅酸素のため入浴による負担が大きいので、自分で清拭のみ行っている。
- ・微熱が1ヶ月程度続いているため、介護者が清拭している。
- ・1ヶ月位入浴しておらず、清拭も行っていない。

洗身は行っていないから、選択は「行っていない」となるけど手間となっていることがある場合はその手間となっている部分も特記に書いたよ。

お願い

調査後、本人や家族から「調査時間が短かった」「そんな内容は聞かれなかった」等、言われることがあります。**調査終了後、聞き取った内容や本人・家族が調査員に伝え忘れていることはないか必ず確認してください。**また、介護度を聞かれても、「**結果をお待ちください**」と、伝えてください。

そうだよ。その手間となっている特記が大事で、審査会で判断してもらうんだよ。



10月にフォローアップ
研修をしたよ。



介護保険課認定係

平成25年12月2日

認定調査とつきクン通信

H25特大号

(H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行いたします)

*今回の研修目的は、今年度とつきクンのテーマとなっている
「質問の仕方」です。

調査項目全ては行えないため、専門調査員からの問い合わせの多い
項目を実際に模擬認定調査として皆さんに行ってもらい、グループ
で特記を考えていただきました。

皆さんにもお伝えしないとね。
今回は特大号にしました。皆さんも確認してください。

*専門調査員からの問い合わせが多い項目 (5月20日～6月6日までのデータから)

・1-1.....70件 ・2-5.....63件 ・5-5.....83件

・1-2.....70件 ・2-6.....59件 ・5-6.....77件

全ての問い合わせ件数 (2週間).....1709件でした。

2週間でこの件数を問い合わせしたんだね。
少なくなるといいね。

設定はあっても細かい部分の質問は
それぞれの役で考えながら答えてい
たね、調査対象者役・家族役・調査員
役のみんな上手だったよ。

1-1

*左上下肢麻痺している設定で、調査を行いました。

グループA：特記例

*左上肢・左下肢を選択

・麻痺があり、左上下肢の拳上、保持ができないため選択

・より良い特記にするには
左上下肢・その他(部位等)の確認・聞き取った内容の記載が必要。

グループB：特記例

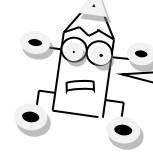
*左上肢・左下肢・その他を選択

・左上肢肘が曲がった状態で前・横30度程度で静止保持、痛みの訴えあり痺れはない。左下肢
60度は自分で上げられたが、それ以上は無理との事。左足首他動では動くが自分で動かすのは
わずか1cm程度、左手指は自分で動かさず他動では動く。

・この内容であれば、問い合わせはしません。

1-1 ポイント

ここは実際に行ってもらい、拳上、静止ができたかどうかの確認・記載が必要。
自分でどの程度動かせるかの記載が審査会での判断材料となる。
選択した項目の特記は必ず記載。



Aの特記には何が足りない？

1-2

*左上下肢麻痺あり、左半身は他動でも動かさない設定で、調査を行いました。

グループA：特記例

*肩関節・その他（肘）を選択

・自力では左上肢（肩・肘）は動かさないが他動的に動かすも30度程度の可動域しかない。無理に動かすと痛みの訴えもある。

・より良い特記にするには
30度の可動域は肩関節なのか肘関節なのか両方なのかの記載が必要。
膝関節の確認内容の記載が必要。

グループB：特記例

*肩関節・膝関節・その他（肘）を選択

・左肩水平に至らず他動でも30度程度で痛みを訴える。左肘も屈曲したまま拘縮している、痛みある為試みなかった。左膝60度程度で拘縮しており伸ばせない。左股関節、外転に制限あるが右股関節の外転は支障なく2.5cm開くことを確認した。

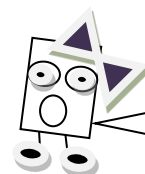
・より良い特記にするには
肘関節が、どの程度の屈曲なのか記載があればもっと分かりやすい。

1-2 ポイント

他動で動かして、どの程度の状況であったかの確認・記載が必要。
他動でどの程度動くかの記載が審査会での判断材料となる。
選択した項目の特記は必ず記載。

2-5.6

*（2-5）本人：トイレに自分で行き、全部一人で行っている。困ってない。
家族：実は間に合わないことがあるので、後始末をすることがある。
（2-6）本人：自力でトイレに行くが便秘ぎみ。
家族：時々便が緩くなるようで、下着が汚れている。
以上の設定で、調査を行いました。



聞き取ったことを特記にするのは、難しいね。

グループA：特記例

*（2-5、6）介助されていないを選択

・リハビリパンツを使用。排泄動作に介助は無いが、週3回程度失禁があり、家族が床や便器の掃除をしている。入浴時に家族がリハビリパンツの交換をする。
排便コントロールできておらず、下痢することがあるがリハビリパンツは本人が替えている。

- ・より良い特記にするには
「介助されていない」を選択するのであれば、頻度から「介助されていない」の記載が必要。

グループB：特記例

* (2-5) 介助されていないを選択

- ・トイレでの一連の排泄行為は自立している。失禁後のリハビリパンツは自分で交換する。
* (2-6) 見守り等を選択
- ・排便の介助は行われていないが、下着の汚れや流し忘れがある為家族が確認し、声掛けを行っている。

- ・より良い特記にするには
2-6「見守り等」を選択するのであれば、流し忘れがある為（家族が毎回している）等の頻度の記載が必要。

(2-5・6) A・B共に特記としては、完全ではありません。今回選択肢が分かれたのは、それぞれのグループで話し合う際の着目点の違いでしょう。

2-5・6 ポイント

一連の排尿動作が自分で行えているか。

介助されている部分の確認。(誰が・どんな介助をしているか・頻度)

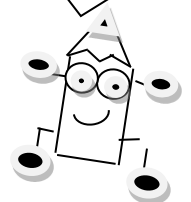
排泄の回数から介助を行っている・行っていない頻度の多い方で選択する。

排尿・排便は、頻度や介護状況が異なる場合もあり特記は別々が望ましい。

5-5

- *本人：一人で暮らしているので、自分でも行くが家族が買ってくることもある
家族：訪問した時は家族が買っています。
以上の設定で、調査を行いました。

以外と「5-5・6」の問い合わせが多く困ってます。



グループA：特記例

*一部介助を選択

- ・週2回一人で買い物に行くが、好きな物ばかりを買ってきてしまうため、娘が週1回確認し必要な物を買っている。支払いは計算ができないため千円札を出している。

- ・より良い特記にするには
本人（好きなものばかり）とあるが、食材や日用品が含まれているかの確認内容の記載がないため「一部介助」の判断はできません。(嗜好品は含まない)

グループB：特記例

*介助されていないを選択

- ・本人週2回シルバーカーを使い買い物に行っている。家族が週1回重い物を購入している。
ゼリー・お菓子等冷蔵庫に同じものが入っているが訪問時に家族は対応していない。

- ・より良い特記にするには
頻度から「介助されていない」と判断した記載があればもっと分かりやすい。
(5-5) A・B共に特記としては完全ではありません。今回選択肢が分かれたのは、本人の買い物内容に食材や日用品を購入しているか、嗜好品のみなのか確認がされていない為でしょう。

5-5ポイント

過去1週間において、自分で買い物に行くのと家族やヘルパーが買い物するのとどちらが頻度が多いのか、多い方で判断。

「家族・ヘルパー等が多いとした場合」

買ってきてもらう物の依頼は？本人が依頼するのか。家族等の判断で購入するのか。

買ってきてもらった物の支払いは？本人支払うのか。家族等が支払うのか。

依頼や支払いの内容によっては、選択肢も違ってきます。

5-6

*本人：自分でカップ麺にお湯を注ぐことは出来る。

家族：一人暮らしなので来たときは作っている。

以上の設定で、調査を行いました。

グループA：特記例

*全介助を選択

・菓子パンやスナック菓子を食ベカップ麺も自分で作り週3~4回食べているが、以前鍋を焦がした経緯がありコンロは使わない。娘が週3回訪問し食事の支度をし、その時は温かい物を食べているが、一人になると電子レンジが使えないため、どのように食べているかは不明。不適切な状況と判断し全介助を選択。

時間の関係で特記例は1例のみでした。

・より良い特記にするには

娘の訪問時は簡単な調理の何を（炊飯・温め・即席めん等）行っているのか、確認内容の記載がない。

普段の食生活は何を食べているのか、確認がとれていないので判断ができない。

5-6ポイント（よく読んでください）

簡単な調理：「炊飯」「弁当・惣菜・レトルト食品・冷凍食品の加熱」「即席めんの調理」への介助が「行われている→行われていない」の軸で選択することが原則。

最初に、「炊飯」「温め」「即席めんの調理」のうち、対象者に実際に発生している行為を特定する。

それらの行為全てに介助が行われている場合は「全介助」。

部分的に介助が行われている場合は「一部介助」。

*一部介助の判断は、介助が発生している簡単な調理の行為全てに、部分的に介助がある場合。

例えば・炊飯・お米を研ぐのは家族が行うが、炊飯器のスイッチは自分で押す等。

過去1週間(1日3食)において、炊飯・温め・即席めんの調理の頻度を確認。介助されているか誰が一番多く行っているか、より頻回に見られる状況や日頃の状況で選択。具体的な内容を特記に記載。

「簡単な調理」は自分で行っている(選択肢は：介助されていない)が、おかずを作っている・惣菜や弁当を買ってきてもらう等家族やヘルパーが行っている場合は手間となっている、行為を特記に記載。

まとめ

今回の研修を行って・・・参加者の皆さんには、自分が調査員だったら、どう質問するか？
何が質問に足りないか？どう特記に書くか等グループで話し合いを
していただきました。

皆様にも再度、確認のお願いです。

「質問の仕方」

各項目の定義を、確認できていますか。

該当する選択肢の、頻度（回数の確認）や手間（具体的内容）を聞き取りしましたか。

日頃の状況も、確認しましたか。

本人・立会者双方に確認しましたか。

**（聞き取ったつもりでも、いざ特記を書こうとしたら書けないことはありませんか。問い合わせがきても、
回答できない事はありませんか。）**

「特記の記載」

聞き取りした内容が、記載されていますか。

迷った際の、選択根拠を記載しましたか。

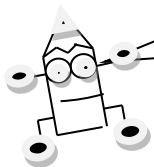
介護の手間となっていることを具体的に記載しましたか。

頻度、週数回・月数回・時々等ではなく週1回・月2回等で記載しましたか。

**（せっかく聞き取った内容が記載されていないこともあります。問い合わせをして初めて分かることも
もあります。）**

調査票に記載されている内容が、審査会での大事な資料となります。

認定調査の定義にうまく当てはまらない場合や特別な事情がある場合等、特記事項が
審査会での大事な判断材料となります。



基本調査項目の選択と特記の内容に
へだたりがあると、確認せざるを得ません。信頼できる
認定調査票の作成のためご協力をお願いします。



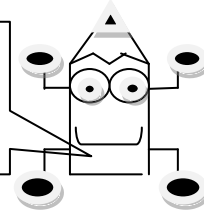
問い合わせが、少なくなるよ
うに、私も頑張りマース。

認定調査とつきクン通信 (H25第9号)

(H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行いたします)

1-4 起き上がり

調査項目 1-3 「寝返り」～1-8 「立ち上がり」までは基本的に「寝ているところから、歩くまでの行為」だね。寝返り→起き上がり→座位保持→歩行 (5メートル) 能力を確認する項目が続くね。



聞き取り方



寝た状態からどのように起き上がっていますか

⇒布団に手をついて起きている。

聞き取った内容

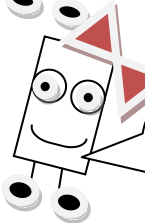
居間などで座っている状況で調査開始することもよくあるね。無理のない範囲で確認動作をしてもらってほしいな。原則、話だけではなく、調査時に確認を行う項目だよ。日頃の様子もきちんと聞いてね。



追加で聞き取り



すみませんが、布団から起き上がりを行って頂けますか。



日頃、ご家族がお手伝いすることがありますか。

追加で確認・聞き取った内容

体を横向きにし、手と肘に体重をかけて布団を押すようにするが、なかなか起き上がれず、徐々にヨイショと言いながら、起き上がった。

⇒家族からの聞き取りでは、日中一人なので、自分で行っている。介助は行っていないが、つかまる物が必要なようで、すぐに起き上がれないようだ。特にトイレに行く時、大変時間がかかっている様子で心配しているが、自分でできると本人が言うので、見守っている。

聞き取った内容からの特記

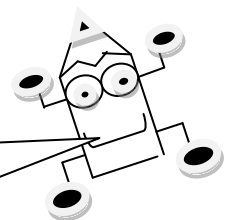
- ・布団で寝起きし、周囲につかまる物がなく手や肘で布団にしっかり加重し、時間をかけて起き上がっている。家族は介助していないが、一人での起き上がりが難しくなっていることを心配している。

選択肢※何かにつかまればできる

認定調査の基本的な心得を思い出してね！

調査対象者の様態をチェックしながら進めましょう。

- ① 緊張させない・しない。
- ② 生じている介護の手間を把握する。
- ③ 確認動作の試行は注意して行う。





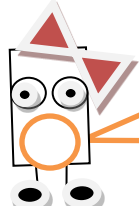
認定調査とつきクン通信 (H25第10号)

(H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行いたします)

4-4

昼夜逆転

聞き方の例



夜、起きていて困ることはありますか

聞き取った内容

夜寝られず起きていて、ごそそしているの
で、家族は寝られない。

追加で聞き取り



ごそそしているということですが、何を
しているのですか？

聞き取った内容

何をしているのかわからない

確認した内容から特記

夜寝られずごそそしている。特に目的はないようだが、家族は寝られない。選択肢「ある」
???

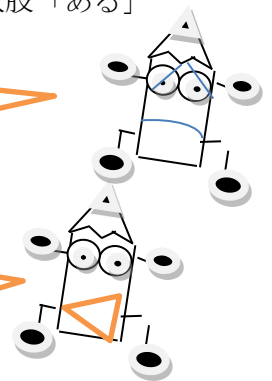


??

わからない

おい、おい、それでいいの
かい!何か忘れてない？

そんな時は、テキスト
を確認してご覧よ

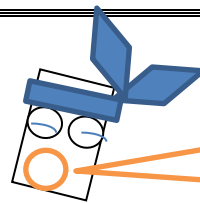


定義 「昼夜の逆転がある行動とは」

- 1・夜間に何度も目覚めることがあり、そのために疲労や眠気があり日中に活動ができない
- 2・昼と夜の生活が逆転し、通常、日中行われる行為を夜間行っているなどの状況

その後、ケシコちゃんは頑張った！

確認した状況から特記

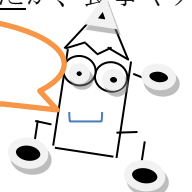


本人の日中の支障や
頻度はどうですか？

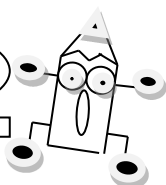
週に2回寝られず、ごそそ起きているので、家族が寝られない。本人は日中、傾眠がちだが、食事やサービスに参加できないなどの支障はないとのこと。選択肢 「ない」

最近4群の頻度の記載漏れの問い合わせが多い！注意してね。

完璧だね！



H25年度、最後の「と
っきクン」となりました。



介護保険課認定係

平成26年3月3日

認定調査とっきクン通信 (H25第11号)

(H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行いたします)

その他－特別な医療

8. 疼痛の看護

聞き方の例

・過去14日以内に痛みに対しての何か治療を受けていますか。

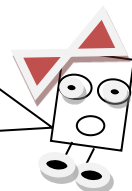


聞き取った内容

→・毎日痛み止めの、薬を飲んでいる。

追加で聞き取り

・内服薬以外で、痛みの治療を看護師等から受けているものはありますか。



追加内容

→・ガンの末期により痛みが強い時があり週1～2回程度訪問看護師より、座薬を挿入してもらう。

確認した状況から特記

・毎日、内服薬の痛み止めを飲んでいるがガン末期で、それでも痛みが強い時は訪問看護師に痛み止めの座薬を週1～2回挿入してもらう。
選択肢*ある*

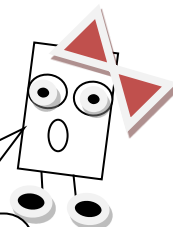
ポイント

特別な医療は・・・

- ・過去14日間に受けた特別な医療か。
- ・継続して行われているか。
- ・調査時点で、医師の診断により処置が終了・完治している場合は、過去14日間に処置していても、継続していない為該当しない。

確認して欲しい点

- ・ガン末期に相当するひどい痛みなのか。
- ・看護師等により実施される医療行為か。



聞き方も難しいよね。本人や家族がガン末期と知らない場合もあるから注意してね。